



■ 気づき 考え 実行する

桂川中学校 校長 山中 祥道

全校生徒290名と39名の教職員で令和8年度・桂川中学校の教育活動がスタートしました。

分からないことや知りたいことは、すぐにスマートフォンなどで調べることができるとも便利な時代になりました。

しかしながら、子ども達が実社会で活躍する今から10年後はどのような時代になっているか、想像することさえできません。

全ての生徒がそんな次代を力強く生き抜くために、全教職員で力を合わせ、子ども達が夢を叶えるための根っこを育てます。

このことについて「2036年へのパスポートをつかもう」と生徒と目標を共有したところです。

これらのことを具現化するために、開校以来80年にわたって脈々と受け継がれてきた本校の校訓「自立・友愛・剛健」を柱とし教育活動を推進します。

自立

学んだ知識を活用しようとする生徒を育てます。そのために、福岡県教育委員会の研究指定（3年間）を軸

とし、次期学習指導要領を見据えた授業改善を推進します。

友愛

他者と協力しながら適切に判断する生徒を育てます。そのために、全ての教育活動において生徒が考え、議論し、表現する場を設けます。

剛健

目標に向かい粘り強く行動する生徒を育てます。そのために、生徒主体の学校行事等の実施を通して、挑戦する機会を与え成功体験を味わうことのできる場を設定します。

そのためには、保護者の皆様はもちろん地域の皆様のご理解・ご支援が必要です。本年度もどうぞよろしくお願いします。

そして、7月7日(火)・11月11日(水)・2月2日(火)の学校開放日に、ご来校いただき子ども達の頑張りをご覧いただけますようお願いいたします。

学校教育目標

「気づき・考え・実行する」 生徒の育成

～自己実現のための根っこを育てる～

■ 生きる力の基礎を育む幼稚園

教育をめざして

桂川幼稚園 園長 城石 俊弘

新学期を迎え、ちゅうりつお組(3歳児)5名、たんぼぼ組(4歳児)4名、ひまわり組(5歳児)8名が、楽しく園生活をおくっています。

本年度の教育目標を「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」とし、「健康で健やかに育ち元気に遊べる子ども」、「友だちの喜びや悲しみがわかる思いやりのある子ども」、「人の話をよく聞き、自分の思いを言える子ども」の育成をめざします。

本年度も「わんぱくタイム」を設け、体操やランニング、外遊び、園外の散歩等を計画的に行います。外部講師による「リトミック」や「キッズヨガ」も継続し、身体能力の向上や子どもの感性、表現力の向上を図る取組を進めます。

また、生きる力の基礎を育み、学びや生活の基盤をつくる、架け橋期のプログラムの実践に取り組みます。中でも小学校への期待感を高め、スムーズな接続を図るために小学校児童との体験・交流活動を充実させ、小学校生活に向け園児のより良い育ちをめざします。

開かれた園づくりをめざして、町立図書館、王塚装飾古墳館、ゆのうら体験の杜の活用やとれたて村、桂川東アンビシヤス広場の方たちとの

体験・交流活動など、地域の施設の活用や地域の方とのふれあいにも力を入れ、「ふるさと桂川」への意識を芽生えさせたいと考えています。

子どもたちの園生活の様子を写真でお知らせする「元気っ子だより」も毎月更新していますので、ぜひご覧になってください。(桂川町公式HP ↓子育て・教育 ↓桂川幼稚園 ↓「元気っ子だより」で見ることができま

す。) 本年度も教職員一同、生きる力の基礎を育むことを目標に、子どもたちに負けない明るさと元気で幼稚園教育を進めていきます。地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

とれたて村の皆さんと芋掘り体験



小学校での給食体験・交流

